

## 認定NPO法人ぱれっと 2022年度 事業報告書

### 1 はじめに

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けた結果となった。コロナの影響を受けたダメージを回復に導くことが出来ず、コロナのため致し方無いこととしてきたことが、結果に繋がっていると反省しています。特に運営面に関しては、赤字を連続で生み出す状況になっており(2022年度においては△約500万円)、このままでは危機的な状況につながると考えています。

しかしながら、研修やイベントなどは、少しずつ、感染予防を行いながら再開をしてきています。引き続き感染には留意しながらもウィズコロナを軸とした事業計画を次年度には用意していきたいと考えています。

その他目標と達成状況については以下に記載します。

・新型コロナウイルスへの対応を継続して、対応力を高めるとともに、受けたダメージの回復を図ります。

こちらに関しては具体的な取り組みが出来て来なかった。ただ運営会議の中で、「予算や執行状況」については確認を行うようになった。運営改善のための話し合いには十分踏み込めなかったが、デイサービスを皮切りにして、運営適正化(赤字改善)に向けて動きを作り始めることができた。

・利用者のみならず、職員が笑顔で働ける職場づくりを目指します。

具体的な活動につなげることが出来なかった。

衛生管理者を配置し、産業医として朝尾氏に関わりをお願いしていくことになりました。そこから職員の福利厚生などの充実を図り、働きやすい職場づくりへつなげる取り組みをはじめました。

・職員の採用等に力を入れ人員増を図ります。

コンサルタントの寄玉氏に若者が関わりやすい、通信アプリからの発信をしていただいた。また、大学などへの働きかけも実施した。ハローワークへは初めて高校生に発信をおこなった。

結果として、新卒者の採用には至らなかった。(応募も無かった)

次年度においては、さらに積極的に活動を行っていきたい。また、費用をかけてでも採用につなげられるように予算を用意して取り組んでいきたい。

### 2 特定非営利活動に係る事業

#### 1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1)6、10、13、14、21、

今年度は、事業長も変わり、各職員やヘルパー、利用者、ご家族等の不安な声が上がった中でのスタートとなりました。皆様に支えてもらい、ご指導ご鞭撻をいただきながら無事に今年度終了を迎えられました。

コロナの状況も変わらない中、外出支援では、少しでも気分転換やリラックスとした外出をしていただきたい

との思いで、各職員、頑張っ行き先の計画を行いました。感染対策や予防を行っている場所や人混みを避けながらの提供は、活動の幅の広がりには限界がありました。このような状況で工夫まではできませんでしたが、利用者から「楽しかった。また、行こうね。」と言われるととても嬉しく温かい気持ちになりました。

初めてクリーンウォークと題した地域のごみ拾いを行いました。地域の方に「ご苦労様。ありがとう。」などの声をかけていただきよい行事となりました。今後も継続して行っていきたいと思える行事の一つになりました。

訪問サービスも登録ヘルパーに支えられながら提供しています。利用者の自立支援が必要ではあるものの、何でもしてあげたい年代のヘルパーさんも多く、仕事としてやらないといけない狭間に悩まれているヘルパーさんもいました。できることはしてもらわないとねと頑張っ受け入れようとされながら、日々奮闘していただいております。登録ヘルパーの方々は、いなくては困る存在です。

サービスの提供と共に書類の整理や作成にも力を入れ取り組みました。取り組み方やできている・できていない部分を明確にすることで、少しずつではありますが、整いつつあります。

利用状況については、予定していてもキャンセルとなったり、ヘルパーの代わりがいなかったり等の課題があります。訪問サービスだけではなく、外出支援も行っていますので、調整が難しいのも現状です。今後は、利用の時間帯の整理や土曜日の活用も踏まえた検討が必要だと思っています。働き方改革が、このようなサービスを行っている私たちにとっては、働きにくくなっている部分も大いにありますが、どのように工夫すればよいのか、考えていくことも必要だと思っています。

人の意見に耳を傾け、意見が言える環境づくりについては、整備が行えず、事業長としての力不足であり、気持ちの余裕がなかったことも原因です。

月1回のコーラージュ会議では、職員のよい意見や思いを聞ける機会となっています。何かをしようとするとき、改善や対策も含め、前向きな意見があがります。日々、時間に追われコミュニケーション不足やネガティブな発言が多いのですが、いざとなると、ポジティブな発言が聞かれることで力を合わせれば新しい発想につながるのではないかと思うこともあります。

利用者のニーズに沿ったサービスを提供し、利用者の持っている可能性を引き出したり、維持や向上につながるようなサポートができること、一緒に楽しく、笑い合えることが何よりも大切に忘れてはいけないことだと改めて感じております。

#### 【コーラージュイベント】

・**クリーンウォーク** 6月4日(土) ぱれっと周辺のゴミ拾い

頑張った後は、焼肉食べて

たくさんゴミを拾いました。

お疲れさま会 🍷



日頃、使用している道の  
ゴミを拾いました。

腕章で地域にアピール！！

・**クリスマス会** 12月3日(土) こぐまくらぶ事業所 喫茶エールにて

一人ひとり個性的な  
装飾づくり



箱の中はなに？ゲーム



みんなで、マスク外して

記念写真📷



手作り装飾をツリーに飾り  
ました🎄

美味しくて可愛い食事🍽

### 【ヘルパー研修】

・第1回 ヘルパー研修 4月24日（日）

◎ヒヤリハット・感染症について



・第2回 ヘルパー研修 9月25日（日）

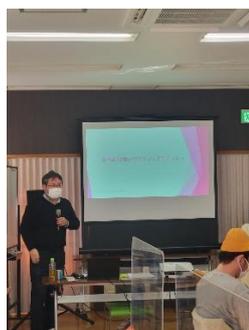
◎コロナ禍における工作上・生活上のストレス対処法～心の健康を保つために～



・第3回 ヘルパー研修 1月29日（日）

◎虐待防止・身体拘束の制度等について学ぼう。

～事例をとおして、不適切なケアについて共有し、みんなで一緒に考えよう～



### 【ヘルパーミニ研修】

・第1回 7月26日（火）

◎ヘルパーのできること できないこと

◎サービスの記録票の書き方、サービス実績の訂正方法などについて

・第2回 11月29日（火）

◎台風襲来及び警報時の対応について

◎横断歩道での安全確保、感染対策としてガウン等の着脱について

コラージュ利用人数(重複利用者含む)

居宅介護 33名 重度訪問介護 1名 同行援護 4名 行動援護 36名

訪問介護 5名 介護予防 3名 神戸市移動支援 61名 明石市移動支援 10名

淡路市移動支援 1名 助け合いサービス 13名 合計 167名

## 2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続B型事業 生活介護事業)

### ※定款(1)6

今年度の前期後半にコロナウイルス感染者を確認。(職員3名 利用者7名)夏季休暇を含め4日間の期間を空けることでそれ以上の感染拡大には至らず。

年明けよりコロナ感染を含め体調不良者は出るものの、当事業所内での感染拡大することなく、本年度のテーマの一つである「事業所内の公衆衛生の強化」の成果を出せていると考える。

今後も継続した取り組みとして進めていきたい。

もう一つの事業テーマが「作業提供、職員配置の多様化」であったが、利用者の退所、新規職員の加入また、新規利用者の受け入れ準備など、変動の年度で調整は容易ではなかったが、職員配置の多様化への取り組みは屋内外の作業共に進捗しつつある。

それに準じてスタッフ同士の話し合いの内容も、支援内容の検討やより良い作業提供方法の模索、検討する機会が増えている。

今年度末には、新卒者の契約者1名(就労継続B型)の予定もある。

実施行事等(年間行事)\*コロナ対策として内容の変更あり。

### ・花見外出\* 令和4年4月4日

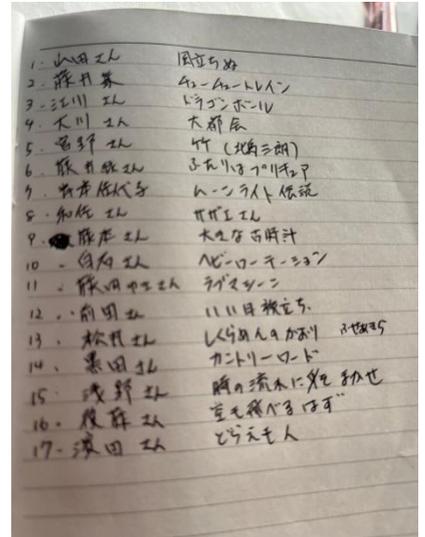
今年度も外出時間の短縮を行う。AMには創作活動(壁面飾り)と卓球で楽しみ、昼食とおやつでは他のB型事業所の弁当を注文。利用者にとっても、またスタッフにとってもよい刺激になった。



・忘年会 令和4年12月29日

今年度は、宴会場を貸切ること感染対策を行う。また、利用者からのリクエストが高かった「カラオケ」を実施する。当日、急遽の欠席者が1名あったものの、予定では全員参加であり、利用者の中でも満足感のある行事が開催できた。

参加利用者: 20名



・初詣 令和5年1月4日 平野八幡までの初詣外出



・日帰り旅行 令和5年1月28日

参加利用者: 20名

コロナ禍の影響を考え、旅行は中止。代替案としてボウリング大会を開催。



### 就労&生活介護 家族会

第1回 家族会 令和4年4月7日

第2回 家族会 令和4年8月19日

第3回 家族会 令和5年3月2日

作業関係

下請け作業(バリ取り作業、リネン作業、ジンニング作業、MT-NET)

今年度も昨年度同様に継続した作業を行っている。季節限定のものではあるが、新規作業の開拓も出来た。また、上記にもあるが、事業のテーマに沿った「作業提供の方法」にも配慮し、今年度も比較的安定した作業提供が行えている。



授産製品(竹粉石鹸、竹パウダー、多肉植物など)

西区自立支援協議会と社会福祉協議会と共同で「KOBE にし😊ショップ」の活動にも参加している。西区役所内で月に1,2回の販売会を行っており、少しずつリピーターも増えている。

無人販売所では、長期休暇も経て、現在では新たに多肉植物の「育成棚」を作成し、「寄せ植え」を作業として新たに取り組み始めている。



#### 個人宅除草作業

今年度は、竹作業とのバランスを取りながら調整し継続して取り組んでいる。前日には、利用者の参加希望を取り入れるなど、事業のテーマを取り込みながら進めている。



#### 竹林作業

- ・神戸市役所 都市局用地活用推進課(11月～2月)
- ・神戸市伊川谷小寺里づくり協議会 (12月～1月)
- ・国営明石海峡公園 神戸地区 あいなの里山公園 竹林整備 (現在調整中)
- ・個人の竹林整備 6件



多機能利用者数 就労継続支援B型事業 17名 生活介護(就労系)5名(令和5年3月31日現在)

#### 3) デイサービス(地域密着型通所介護、介護予防通所介護 共生型生活介護)

※定款(1)14、16

本年度も図書館カフェを目指して取り組んできましたが、コロナ禍もあり思うように進んでいません。それでも多くの古書籍の寄贈などを受けました。2月と3月はリニューアル準備としてお休みし、4月より再開予定です。

新規利用者獲得に向けて、新しくリーフレットを作成し、介護支援専門員や相談支援事業所連絡会でのチラシ配布、精神障害ネットワークでの事業所紹介(西区自立支援協議会)などでアピールしました。

その甲斐あって多くの見学や体験利用のお問い合わせがあり、生活介護での4名の新規利用が始まりました。

た。介護保険を軸に事業を行ってきたので、多障害の方の利用が始まり、戸惑いや不安を抱えながらのスタートではありますが、利用者さんにも不安や心配をさせてきたと思います。今に至ってはお互いに少し慣れてきて、関係が出来てきた感じがします。

しかし、残念ながら利用者さんの入院や逝去、都合による利用回数減、やむを得ない退所など、利用者さんや収益は結果として増えていません。まだまだ赤字運営ではありますが、まだまだ努力できることがあるので、新規利用者さん獲得に向けて、努力します。

行事としては日帰り外出、納涼祭、忘年会を開催しました。日帰り旅行では珍しい光景も見れて喜んでくださりました。納涼祭・忘年会は他部署の応援もあり、ギター演奏や歌、ビンゴゲーム、ガチャガチャなどを楽しみました。また本年度も創作活動に力を入れて制作しアートシップ明石に展示させていただきました。新しいレクリエーションの「輪投げ」も始めました。

ボランティアの方の活動も上手く定着しています。活動回数は多くありませんが、新規のボランティアさん2名が加わってくださりました。またお問い合わせもいただいております。

納涼祭                    8月22日  
 日帰り旅行            10月21日  
 忘年会                    12月28日



デイサービス利用者 計 16名

地域密着型(要介護)6名 介護予防通所介護(要支援)2名 共生型生活介護 8名

#### 4) 相談支援事業

特定相談支援 一般相談支援 障害児相談支援

※定款(1)8、9

今年度は4名の体制で取り組んでいます。体制加算等は昨年度と同様に進めています。新規配置の相談支援専門員については、神戸市相談支援専門員人件費補助を受けています。

特定相談及び障害児相談(計画相談)については、特定相談支援を軸に新規に対応も進めていました。ただし3月末で相談支援専門員が1名退職することになったので12月頃より新規の受付を減らして引継ぎを優先しています。とはいえ、利用者数は前年度より50名近く増えており200名を越えています。

KWNの相談支援事業所連絡会を始め、各ネットワーク、明石市自立支援協議会における、相談支援事業

所の連絡会、事例検討会に積極的に参加してきました。相談支援専門員の質の向上につながっています。また、管理者が主任相談支援専門員の研修を修了するなど、神戸市における相談支援事業所との関りも強くなってきています。経営的には厳しい事業ではありますが、他事業所との協働システムも視野に入れており、次年度はしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

一般相談支援については、今年度も昨年同様にほぼ依頼がない状況でした。実績としては2月に北区の病院から依頼があったので進めていますがこの1件に留まっています。神戸市の地域移行・地域定着推進事業にも関わっているので、依頼があれば対応していきたいと考えています。

特定相談支援 193名 障害児相談支援 11名 一般相談支援 1名 計 205名

## 5) グループホーム(共同生活援助)

### ※定款(1)6

今年度もコロナ感染対策として、基本的な対策はもとより感染者が多い時期には世話人の食事場所を変えたり、食事以外はマスク着用など、生活の場では大変だったと思いますが協力頂き感染者を出すことなく過ごすことが出来ました。それでも発熱者はあり、その都度駆け付け、完全防備をして抗原検査を実施、結果が出るまでヒヤヒヤしました。

年度の前半は、蔓延防止等重点措置が発令され外部の通所を中止する事もありましたが、後半は家族旅行に行く方がいたり、ほぼ通常通りの生活に戻りつつあります。

今年度も定期的に散歩を行い健康管理に努めましたが、全体的に体重増加傾向にあり、来年度も引き続き取り組み健康維持に努めたいと思っています。

散歩中の利用者さんとの会話から、野菜の栽培を始めました。世話人さんが利用者さんと土作りから



行い、まずは玉ねぎ・長ネギ・ブロッコリーを育てています。水やりなど積極的に参加してくれています。



節電・節水・節約等努めてきましたが、物価高騰で今年度利用料(食費・光熱費)の値上げを行いました。それでも高騰が続く余裕はありませんが、引き続き節電等取り組んでいきます。



今年度もクリスマス会を開催。世話人さんご夫婦が腕を振ってご馳走を作ってくれました。ご近所の就労スタッフもお手製のアップルパイを持って遊びに来てくれました。

3月5日(日)USJへ日帰り旅行に行きました。お天気にも恵まれ、朝から夕方まで時間の許す限りみっちり遊びました。久しぶりの日帰り旅行、利用者さんスタッフ共に楽しい時間を過ごすことができました。

#### 6) 兵庫県指定行動援護従業者養成研修

※定款(1)2、3、10、24

##### 行動援護従業者養成研修

令和4年10月1日～10月16日 修了者 22名

今年度もあかりの家の施設長はじめ、法人の職員の皆様に講師陣にご支援をいただき開催に至りました。今年度は、社会福祉法人明桜会さんとの共催の形を取りました。運営等はぱれっとで行いながら会場等は、明桜会様のサポートセンターはばたきを利用させていただきました。

時期的にもコロナの影響をあまり受けずに実施することができました。



明桜会からも多くの参加があり、収益としても上がることができました。行動援護の事業所を増やしていきたいとの目的が十分に果たしてはませんが、行動障害のある方の生活をより多くの支援者が関わることでよくしていきたいとの思いからも今後も継続して実施していきたいと考えています。

今年度、同行援護従業者養成研修及び移動支援従業者養成研修は実施しませんでした。

#### 7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

##### 第1回グループホーム設立・運営委員会

令和4年6月5日(日)10:00～11:30 デイサービスフロア & オンライン(Zoom)にて開催

家族等16名(内オンライン5名) 職員3名

議事内容 今年度の活動について グループホームの見学について  
ぱれっとの状況報告について 意見交換

##### 第2回グループホーム設立・運営委員会

令和4年10月9日(日)10:00~11:30 デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催  
家族等9名(内オンライン2名) 職員2名  
議事内容 グループホーム見学の報告 クレストホーム提案のホームについて  
2か所目の見学先について 意見交換

### 第3回グループホーム設立・運営委員会

令和5年2月5日(日)10:00~11:30 デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催  
家族等13名(内オンライン5名) 職員3名  
議事内容 グループホームを取り巻く状況についての報告  
グループホーム設立に向けた進捗状況  
今年度の活動 次年度の活動についての意見交換

### 第1回グループホーム見学

グループホーム LINE(リアン)北六甲  
令和4年7月26日(火)11:00~12:00  
家族等2名 職員2名

掘様に対応していただきお話など伺った。



### 第2回グループホーム見学

社会福祉法人明桜会 第10 やまゆりの家  
令和5年2月15日

家族等6名参加  
職員2名参加

明桜会 吉田様にご対応いただき  
お話などを伺った。



## 8) その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1, 2に該当する活動を直接的には実施できていません。しかし昨年度同様に各プロジェクトなどを行うあたり啓蒙・啓発の活動にはつながっています。さらには、KOBE WEST NET や 135E ネットの活動を通して地域福祉に関する調査・研修・発表事業を実施することができています。

9)未実施の事業

※定款(1)4、5、7、11、12、15、17、18、19、20、22、23

においては、令和4年度は機会が持てず実施できませんでした。

次年度以降の実施課題として準備していきます。

3 事業実施体制

(1)会議に関すること

① 総会 令和4年6月19日(日)10:00~11:30

正会員数総数 33名 出席者数 18人(内委任状出席 17人)

理事出席 8名 監事 1名

② 理事会

○第1回 令和4年5月20日(金)18:30~20:00

出席者 10名 内オンライン参加 3名

議事 令和3年度事業報告 令和4年度事業計画案他 総会に向けて

○第2回 令和4年8月19日(金)18:30~19:30

出席者 10名 内オンライン参加 3名

議事 事業経過報告 今年度の予定 意見交換 他

○第3回 令和4年12月23日(金)18:30~20:15

出席 10名 内オンライン参加 3名

議事 事業経過報告 他

○第4回 令和5年3月3日(金)18:30~20:30

出席名 10名 内オンライン参加 3名

議事 令和4年度事業報告 令和5年度事業計画等

③ 職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 令和4年10月29日(土) 9:00~10:00 事務連絡について

出席 17名

第2回 令和5年3月11日(土) 15:30~17:00 令和5年度事業計画について

出席 16名

④ 運営委員会 + 虐待防止・権利擁護委員会 + 身体拘束適性化委員会

所長 事業長 センター長 事務長 課長等役職者 出席 理事にも出席可能日は参加頂く。

4月28日(木)13:30~15:30	8名	5月26日(木)13:30~15:45	9名
6月23日(木)13:30~15:45	7名	7月28日(木)13:30~15:30	10名
8月25日(木)13:30~15:40	8名	9月29日(木)13:30~15:45	8名
10月27日(木)13:30~15:45	9名	11月24日(木)13:30~15:30	9名
12月22日(木)13:30~15:30	8名	1月26日(木)13:30~15:40	7名
2月16日(木)13:30~15:30	6名	3月23日(木)13:30~15:30	8名

議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等  
今年度より、虐待防止・権利擁護委員会及び身体拘束適性化委員会も同時に実施しています。

⑤ 各事業会議

1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 常勤職員

議題 事業内容 個別カンファレス等

4月16日 5月21日 6月18日 7月23日 8月20日 9月17日 10月15日  
11月19日 12月17日 1月21日 2月18日 3月18日 計 12回

2)就労会議

所長 管理者 支援スタッフ

議題 事業内容 作業内容 個別カンファレス等

4月20日 5月18日 6月15日 7月20日 9月21日 10月19日  
11月16日 12月21日 1月18日 2月15日 3月15日 計 11回

3)デイサービス会議

デイサービス 共生型生活介護(スタッフ)

議題 事業内容 個別カンファレス等 (+デイプロジェクトに関する会議)

4月13日 5月11日 6月8日 7月6日 8月10日 9月14日 10月12日  
11月2日 12月14日 1月11日 2月9日 3月8日 計 12回

4)相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換 その他随時引継等を行う。

4月20日 4月27日 5月10日 5月13日 6月3日 6月24日 7月14日  
7月26日 8月5日 8月24日 9月12日 9月29日 10月19日  
10月31日 11月22日 11月30日 12月23日 12月29日 1月11日  
1月27日 2月15日 2月28日 3月23日 3月28日 計 24回

5)グループホーム会議

管理者 サービス管理責任者 世話人

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、利用者個別カンファレンス等

4月8日 6月10日 8月19日 10月14日 12月9日 2月10日

## (2) 研修に関する事

### ① 外部依頼(講師派遣)

1) 令和5年1月20日

神戸市西区社会福祉協議会 西区ボランティアセンター 主催

「いきいき おやじ塾」STEP4 ～ボランティア活動と障がい福祉サービス～

講師として重田が行った。



2) 今年度の講師派遣は、地域移行に関する研修のシンポジスト(実践報告)※オンライン及びピアサポーター養成研修のシンポジスト(実践事例について)にて神戸市保健センターより養成があり、理事長が出席して報告を行った。

3) こぐまくらぶ職員研修講師派遣 7月13日

認定 NPO 法人ぱれっとの取り組みと障害福祉サービスにおける思いなどの話を行った。理事長が講師を行った。

4) 眼の会 65歳問題に関する研修の講師派遣

眼の会主催の研修に講師として理事長が参加、65歳における制度のことについて講演を行った。

## 職員全体研修

第1回 職員研修 令和4年7月9日 9:00～16:00

10:00～12:00 「第2回ぱれっとアワード」講師 寄玉氏(ぱれっとコンサルタント)

第2回目になる、活躍する職員を紹介し優秀な職員を決めていくぱれっとアワードを開催しました。寄玉氏の進行のもとグループに分かれ話し合いを実施しました。

そのあとはインスタ映する写真の撮り方などの説明を受けました。



13:30～16:00 「自分らしく生きるとは？」

LGBTQ、性の多様性を学びたいとの意見が多くあり、性同一性障害の当事者でもある、合同会社虹縁(こより)代表 相談支援センターにこら(虹愛)の相談支援専門員でもある田崎 智咲斗氏にお越しいただき標題についてお話を頂いた。



一緒に考えながら進める対面型の研修方式を取られ、ご自身のこと、性の多様性のこと、社会の状況のことなど御教授いただいた。

コロナの関係等もあり、枝吉福祉センターをお借りして研修を開催した。

## 第2回 職員全体研修

10:00～12:00 兵庫県みんなの声掛け運動「聴覚障害の方への声掛け①」

兵庫県身体障害福祉協会にて実施されている「みんな声掛け運動」にご依頼し講師にお越しいただき、聴覚障害の方(今回は、手話ではなく筆談の方など)への声掛け・関わり方について教えていただいた。

最初に片耳が聴覚障害の大坪氏から聴覚障害になるまでの経緯や困りごと関わり方などについてご講演頂いた。



後半は、要約筆記をされている西野様より、テストなども行いながら支援者としての目線で大事なことは何かなどお話を頂いた。

事業を行う上で、聴覚障害の方へ関りは少ないため、分からないことも当然多いので、今回の研修は多いに役立つと思われる。

13:30～16:30 「知的障害の方の意思決定支援～職員の支援の姿勢を考える」

表題についてえんぴつの子の家の山田たけし氏にお越しいただきお話を頂いた。

当時障害者に関わり始めたきっかけや障害者運動、知的障害者支援に関する職員の姿勢、障害者の権利条約のことなど多岐にわたりお話を頂いた。

山田氏にお越しいただくのは2回目になる。合わせて「道草」の映画上映会で



コメントを頂いたこともある。

今後の利用者意見に活かしていければと思う。

### 第3回職員研修

10:00～12:00 兵庫県みんなの声掛け運動「聴覚障害の方への声掛け②」



兵庫県声かけ運動から、今回も講師にきていただきご講義いただきました。今回も聴覚障害の方についての関り方などを学びました。今回は手話を使って生活をされている方で手話についてのお話もいただきました。手話言語条例などが出されていますが、まだまだ浸透していません。法人としてもこれを機に活動につなげていければと思います。

13:00～15:00 虐待防止・権利擁護研修 講師 理事長 川田

最初に権利条約を話しを行い、そのあと障害者虐待防止法に関する講義、そこから各グループに分かれての「セルフチェックについて」、及び「不適正なケアについて」話し合いをおこないました。普段合わない人とのグループもあり、立場もちがうこともあり、有意義な時間を過ごせたと思います。



② ヘルパー研修 ※コラージュ報告参照

③ 外部研修（研修名 主催 参加者数で記載）

- ・障害者春闘 障害者グループホームについて 障問連 川田
- ・制度について 事業所交流会 川田 田中 末本 花田 重田 中原
- ・聴覚障害児機能中核モデル事業研修 神戸市 木場
- ・日本はいつまで牢屋型治療装置を続けるつもりか 兵庫県精神医療人権センター 川田

- ・地域リーダー対象個別避難計画作成研修 社会福祉士会 浅井 延命 木場 川田
- ・防災研修 眼の会 川田
- ・地域移行・地域定着推進事業関連研修 神戸市 木場
- ・安全運転管理者研修 兵庫県公安委員会 田中
- ・相談支援ファーストレベル研修 神戸市 浅井
- ・精神保健従事者研修 神戸市 中原
- ・神戸市西区ご近所ささえあいサミット 西区社会福祉協議会 木場
- ・サービス管理責任者更新研修 兵庫県 藤田
- ・主任相談支援専門員研修 兵庫県 川田

今年度は、外部の研修に参加することができていない。関係性の強い所の研修、もしくは資格研修の更新もしくはスキルアップの研修に留まってしまった。コロナの影響もあれば、職員が希望される研修が無い若しくは見つけれない結果でもある。

また業務中での調整が難しいこともある。研修の案内が職員のスケジュールが決まった後であったりもするため調整も出来ていない。

現場見学や実習もいけていない。次年度においては研修計画をしっかりと用意して取り組んでいきたい。

#### ④ ネットワーク主催研修

KOBE WEST NET では、今回まなぶ部会部会長になった関係で研修の企画等から参加した。虐待防止・権利擁護研修や重度障害者就学等特別支援事業の研修、防災研修(火災について)などを開催し参加をしてきた。135E ネットの研修は、感染予防、コロナ対策研修や虐待防止研修が開催され主催側ではあるが参加をしてきた。

#### ⑤ 職員育成研修

今年度は行動援護の研修にて2名の職員やヘルパーが参加し修了した。

### (3) 広報に関する事

#### ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理や更新をしていただく。今回は職員からの意見も取り寄せ修正をしていただいた。

細目に更新をお願いして、活動の様子や寄付などのお礼、広報誌などを掲載した。

また、活動報告、求人の案内なども載せてよりホームページの活用を広げようと取り組んだ。

今後も、法人のことを多く知って頂くためにも、職員の採用につなげられるように取り組んでいきたい。

#### 法人広報誌の発行 年4回

4月号 新年度の挨拶 各事業長より 会員案内

7月号 総会報告 スタッフより(相談支援 就労支援)

10月号 障害者の権利条約について スタッフより(コラージュ グループホーム)

1月号 新年あいさつ 新任職員挨拶 スタッフより(相談支援 デイ)

デイサービス広報誌発行

毎月発行 月の予定 行事等の報告など

#### (4) ネットワークに関する事

##### 1) KOBE WEST NET (西区自立支援協議会)

各種ネットワークに参加している。(担当者制にて実施している)

くらす部会(浅井) まなぶ部会(川田)が出席 まなぶ部会部会長として参加している。

期末近くにパンフレットを作成する方向員会があり、理事長に声がかかり参加している。

就労ネットワークではにしにこショップに参加。また事業所紹介フェアにも参加している。

##### 2) 明石障がい者地域生活ケアネットワーク(135Eネット)

理事(川田) ARTSHIP明石担当(川田) 月1回理事会 総会 研修会

ひなたぼっこコアメンバーとして参加(川田) 月1回の会議 その他イベントのスタッフ

##### 3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる連絡会等に参加。主に相談支援事業所の事例検討会、連絡会、交流会等に主に参加している。コロナの状況により一時期オンラインでの開催になっている。

月1回の連絡会及び事例検討会が定期的開催されており参加をしている。

##### 4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会は今年度開催された。第1回事業所交流会の制度説明会には、運営委員会のメンバーが出席をした。第2回事業所交流会には川田、中原の2名が出席をし、中原はデイサービスについて発表をおこなった。

##### 5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっとグループホームほわいとの所在地域の自治会に加盟している。

枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

グループホームのある今津では活動が少ない。一斉清掃時、末本事務長が参加した。

#### (5) 地域とのつながり

##### ふれあいフェスタの開催

今年度は飲食を無しにしてイベントを開催した。準備期間が少なかったことなどもあり、参加者は少なかった。それでも地域



の方、障害者家族のグループなどもあり楽しんでいただけた。

次年度は名物の豚の丸焼きも含めてしっかりと取り組んでいきたい。

#### ポッチャ体験



サッカーゲーム 就労授産品の販売



ステージ ペープサート「三匹のおおかみ」



ぱれっとのデュオ ぽちぶくろ  
による演奏

#### 車いす体験

千本引きゲームなど



## 4 管理部門

### (1) 労務管理

変形労働時間の継続を行っている。夏休み、冬休などの連続休暇のある月の調整等が難しい。今後より職員が働きやすくなるかを、利用者主体のサービス提供を鑑みながら検討を行っていききたい。

### (2) 職能評価の実施

特定処遇改善手当に対しての職能評価を今年度も実施している。また、働く上での目標作成や定期的な振り返りを行うため D-cup シートの作成し面接も継続して行った。職能評価については、課題も多い。が実施側のスキルなども求められることをより感じている。今後もしっかり検証しながら、惜しみない努力を行っている職員がより評価されるように整えていきたい。

### (3) 車両

公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。前回同様に車両に関する知識も高く、車両の把握、車検等の段取りなどもしっかり出来ている。また修理等への対応力も高く、経費の削減にもつながっている。

安全運転研修を行えていない。免許の更新時に配布される、安全運転チェックシートを全職員に配布して、自己点検を行って頂いた。

今年度も人身事故が数件あった。単独事故も数件事故報告も上がってきた。加えて車両に傷があっても報告が上がらないケースが今年度もあり、職員に対する不信感を強く感じる。

・安全運転管理者からは安全協会からの広報誌等の回覧の実施があった。

・今年度はリース車両の入れ替えがあった。事故や車へ傷を入れることが無いように取り扱っていただきたい。

(4) 防災

1) 点検 業者による点検が、グループホームほわいとにて年 2 回あった。森工務店ビルのぱれっとの事業所で 1 回あった。

1) 防災訓練

就労 デイサービス

令和 4 年 6 月 17 日 令和 4 年 11 月 14 日 避難訓練実施 水防訓練含

ほわいと

令和 4 年 6 月 17 日 令和 4 年 11 月 14 日 避難訓練実施

(5) 組織体制(3 月 31 日現在)

1) 役員 理事 9 名 監事 1 名 計 10 名

2) 職員 正規職員 11 名 契約職員 4 名 非常勤職員 30 名 計 45 名